

## 2015（平成27）年度 事業実績報告書

2015（平成27）年4月1日から2016（平成28）年3月31日まで

特定非営利活動法人 おきなわCAPセンター

### 1 事業の成果

2015年度は、提供事業、学習啓発事業、ネットワーク事業を通じて子ども支援に携わる団体や関係機関との連携をより一層深めることができた年となった。特に実行委員会の一員となり、他団体と連携を図った「仁藤夢乃講演会一夜の街をさまよう少女たち」や6地域で実施した主催ワークは、連携強化をする上で大きな成果であったと考えられる。また、沖縄県からの委託事業である子どもの虐待防止のための講演会・研修会も4年目となり、県内で虐待防止に向けた意識、啓発が浸透している。

#### (1) 子どもへのCAPワークショップ（暴力防止プログラム）等提供事業

##### 137回のワークショップ提供

2015年度は、子どもワークショップ79回、おとなワークショップ58回、合計137回提供することができた。学校からの申し込みが年々減少する中、市町村との協働で行う事業は着実に継続できている。那覇市（思春期の心と体のための意識啓発事業・那覇市立中学校17校）は5年目の実施となるが、CAPの考えをベースにつくられた「思春期プログラム」を那覇市内、全中学1年生に届けることができた。7年目となる浦添市（児童虐待防止対策事業・内間小学校、神森小学校にて6回）、4年目の北中城村（児童虐待防止緊急対応強化事業・北中城小学校3年および6年、計8回）、2年目の宜野湾市（デートDV予防啓発出前講座・宜野湾市立中学校4校、障がい児暴力防止プログラム宜野湾市立小学校8校・10回）からの委託も順調に継続されている。その他、児童養護施設職員等資質向上支援事業による沖縄県からの委託も4年目となり、各施設との関係性の向上にもつながっている。その結果、児童養護施設より独自の依頼を受け、子どもワークショップも実施することができた。また、昨年度開発した「安全講話」については、学校単独の依頼を受け実施することができ、依頼先からはよい反応があがっている。

##### デートDVの予防・啓発の取り組み

デートDV防止の取り組みとして、那覇市立全17中学校および宜野湾市立全4中学校にて「思春期の心と体プログラム」を実施。思春期の子どもが自分の心と体を大切にするという視点とデートDVについての情報と相談機関を伝えた。そのほかにも、うるま市、沖縄市、北中城村、児童養護施設、私立高等学校などでも同一のプログラムを実施し、中学校だけで25校、約5千人の中学生にCAPの考えをベースにつくられた思春期プログラムを届けることができた。

### 主催ワークショップ

2015年度は主催ワークショップの実施にも力を入れ、当初計画よりも多い6回実施。また、開催市町村とも可能な限り共催を得て、広報や会場使用などの連携も図ることができた。内容についても、開催地からのリクエストにあわせて、派遣メンバー同士で内容を協議する機会を持つことで、よりニーズにあった内容を提供することができ、参加者のアンケートからも満足度が高かった。

### 児童養護施設へのワークショップ

沖縄県青少年・子ども家庭課の委託を受け「児童養護施設職員等資質向上支援事業」による職員向けの研修を実施。4年目となる今年度は、これまでに実施したワークショップやまた、前年度末に行った振り返り会を受けて「思春期の子どもには解決志向でうまくいく」プログラムを開発し提供。全職員が同じ研修を受講し、共有できるよう時間帯や開催日をずらして、1施設あたり2回に分けて実施した。また、施設職員の他、地域の里親やグループホーム従事者も参加し、相互理解に向けた交流および情報提供を行った。

## (2) ワークショップ提供のための人材育成事業

### 県内外への研修派遣

県内で行われた各種研修会、講演会へメンバーを派遣。それぞれがスキルアップに努め、ワークショップを実施する際の内容に取り入れることも出来た。

### 赤い羽根共同募金による研修派遣

赤い羽根共同募金の助成により、県外研修派遣を実施。福井県で行われた、『JCAPTA 定時総会・総会記念講演会「自己肯定感につながる性教育」』には米元貴子を、東京都で行われた『NPO法人非行克服支援センター主催「子どもの心のSOSにどう向き合うか」』には井形陽子を、京都府及び大阪府で行われた『CAPセレブレーション&エンパワメントセンター主催「しつけと体罰」研修』には上野さやかを派遣することができ、報告会でその内容を共有できたことは意義深い。

### 総会記念講座の実施

これまでは総会の際には、外部講師を招聘して記念講演会を実施していたが、2014年の2月に新メンバー19人が加わったことを受けて、新旧メンバーの交流を目的とした「故郷ワークショップ」を実施。同じCAPメンバーということで、近い間柄であっても、お互いをさらに知り、関係を深めることにつながった。

### 定例会または練習会

定例会、練習会はメンバーの資質向上だけでなく、2014年度に誕生した新規メンバーをワークショップに派遣する前の練習会等として活用。練習会については、ワークショップ開催前などその都度必要に応じて実施し、新規メンバーの活躍の場の提供につなげた。またおとなワークショップの内容やプログラム検討会議を随時開いた。親睦の機会ともなり、チームワークを強化した。

## (3) 子どもへの暴力防止についての学習・啓発事業

### リフカー研修

沖縄県に共催を依頼し実施した2年目の開催。性虐待の疑われる子どもの話を聴く際に用いる「リフカープロトコール」について、研修を開催。2015年度も定員40名の枠がすぐに埋まり、申し込み者の反応の速さからも、非常にニーズも高い研修であることがうかがえた。

### 子ども虐待防止推進事業

沖縄県からの委託事業による4年目となる本事業では、8か所で講演会や講座を企画・運営。広く県民に子ども虐待問題について周知することに努めた。内容はもちろん、運営についても周囲からの評価が高い。講師は、子どもの虹情報研修センターのセンター長である川崎二三彦さん。ホリスティック教育実践研究所の所長である金香百合さん。大阪子どもの貧困アクショングループCPAOの代表、徳丸ゆき子さん。特別教育支援ネットの代表、小栗正幸さん。山梨県立大学の教授、西澤哲さんを招聘し開催した。

## (4) 地域ネットワーク事業

### 行政、民間団体とのネットワーク強化

地域ネットワーク事業は例年通り、副代表および事務局が「那覇市要保護児童対策協議会代表者会議及び実務者会議」、「那覇市子ども政策審議会」「那覇市子ども政策審議会指定管理者選定部会」など各種会議に出席し、子どもを支援する関係機関との連携を図った。

### インターンシップ、フィールドワーク等の受け入れ

那覇看護専門学校からインターンを受け入れ、学生たちにCAPの活動内容や子どもへの虐待について説明をする他、つうしんや虐待防止講演会の広報発送作業、おとなワークショップ等に参加してもらい、子ども虐待防止活動と子どもの人権について伝えた。他にも、ぐしかわ看護専門学校の学生をフィールドワークで受け入れた。将来、医療現場に携わる学生たちへエンパワメントの考え方、支援の在り方、CAPの理念と活動を伝えることができた。

#### 児童養護施設職員等資質向上支援事業

CAPワークショップ提供（提供事業に詳細は記載）の他、児童養護施設職員を対象とし、外部講師を起用して支援ケースについて検討する、SV（スーパーヴァイズ）研修事業を実施。講師には、前年度実施した際に起用した、砂川恵正さん、竹沢昌子さん、本村真さんの他、新規で島袋裕美さんを起用し実施。臨床経験を元に、支援方法を提示することは、参加者にも非常にわかりやすく、好評であった。

また、昨年度同様、リフカー研修も実施した他、国の方針で、児童養護施設毎に研修実践者となる「基幹的職員」を今後配置して行こうという動きがあり、その準備として元県職員の砂川恵正さんを研修に派遣するためのコーディネート業務および検討会議を実施。

#### 仁藤夢乃講演会「夜の街をさまよう少女たち～おとなに伝えたいこと～」

一般社団法人 Colabo の代表である、仁藤夢乃さんを沖縄県に招聘するため、いのちの根っこをそだてる会、おきなわ「非行」と向き合う親たちの会（さんぽの会）、しんぐるまざあず・ふぉーらむ沖縄、ワンストップ支援センターの設立を強く望む会（SO♡）と実行委員会を設置。今回連携した団体とは、初めての共同での事業運営となったが、双方の特徴を活かした企画・運営を行う事が出来、大きな成果で終了することができた。

#### ご入学おめでとう大会への講師派遣等

沖縄タイムス社主催の「ご入学おめでとう大会」（那覇市、うるま市、名護市全3回）へメンバーを派遣して新1年生とその保護者へ「自分を大切にする」というテーマで講話。新しい環境に入る前の不安な気持ちを和らげるとともに、子どもの気持ちを受けとめ、話を聴くことの大切さを伝えた。その他、赤い羽根共同募金活動、各種ワークショップ、講座補助を行った。

#### (5) 会報等の発行事業

活動の報告を兼ねたつうしんを2回（7月と3月）発行し、会員と関係機関へ届けた。また、インターネットを活用して、ホームページとフェイスブック、事務局長ブログを随時更新し、講座や講演会、ワークショップの案内や報告を行うなどの情報発信に努めた。

#### (6) その他、目的を達成するために必要な事業

なし

特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施場所	従事者数(人)	受益対象者(人)	支出額(千円)
子どもへのCAPワークショップ(暴力防止プログラム)提供事業	小学生ワークショップ	16回 北中城小3年生(4クラス)、神森小4年生(3クラス)、内間小4年生(3クラス)、北中城小6年生(4クラス)、アミークス2年生(2クラス)	48	515	5,467
	就学前ワークショップ	4回 相愛幼稚園、北中城幼稚園(3クラス)	12	100	
	中学生ワークショップ	—	0	0	
	スペシャルニーズプログラム	24回 高良小(4クラス)、津嘉山小(2クラス)、大里南小、読谷小、西崎特別支援学校(2クラス)、嘉数小(2クラス)、長田小、大山小、沖縄高等特別支援学校(2クラス)、はごろも小、大謝名小、宜野湾小、志真志小、普天間第二小(2クラス)、美さき特別支援学校(2クラス)	24	332	
	その他	5回 美さと児童園(就学前、小学生)、中城みなみ学童、愛隣園(就学前、小学生)	15	87	
	思春期プログラム	28回 那覇市中学校17校(仲井真、城北、真和志、首里、神原、小禄、那覇、寄宮、上山、松城、古蔵、金城、松島、安岡、石田、石嶺、鏡原)、宜野湾市中学校4校(普天間、嘉数、宜野湾、真志喜)、うるま市立安慶名中学校、与勝中学校、沖縄市立山内中学校、北中城中学校、IDA高等課程(未来高校)、美さと児童園中高生、愛隣園中高生	84	5127	
	安全講話	2回 大山小学校1年生、具志川幼稚園	2	130	
おとなへのCAPワークショップ提供事業	おとなワークショップ(保育所、幼稚園、学校)	21回 相愛幼稚園、アミークスインターナショナル、高良小、津嘉山小、大里南小、読谷小、西崎特別支援学校、沖縄高等特別支援学校、嘉数小、長田小、大山小、はごろも小、大謝名小、宜野湾小、志真志小、普天間第二小、百登保育園、内間小、神森小、北中城幼稚園、北中城小	63	562	
	教職員ワークショップ	3回 沖縄市教職員(人権)、宜野湾市SNP事業、美咲特別支援学校	9	89	
	その他連携機関、大学、児童養護施設等	28回 県内8児童養護施設15回、里親会2回、嘉手納町職員向け、北中城村要対協、民生委員向け、県立北部病院、中城村学童連絡協議会、ちいろば2回、北中城子育て支援センター、大学生向け(沖縄国際	84	562	

		大学)デートDV防止講演会(名城大学、 沖縄国際大学)安全講話(具志川幼稚園)			
	主催ワーク ショップ	6回 宜野湾市、浦添市、おきなわ女性財団、 糸満市、北谷町、那覇市	18	101	
	本の販売	適宜 県内			114
人材育成 事業	研修派遣	県内 7回 5/26 DV防止講座 5/28 境界線研修 9/17 児童虐待と家族の病理 研修 9/19 家族えん会議研修 10/1 DV防止研修犯罪被害の当事 者を支える 11/7~8 全国シェルターシンポジウム	10	21	283
	研修派遣	県外 3回 7/25~26 J-CAPTA 総会と研修(米元貴 子) 8/17~19 非行克服支援センター研修 (井形陽子) 11/28~29 CAPセレブレーション ズ・体罰研修(上野さやか)		3	
	内部研修	3回 4/23 体幹トレーニング(島袋容子) 5/24 故郷ワークショップ(長田清) 2/3 派遣報告会(米元、井形、上野)		30	
	定例会	8回(4,5,7×2回,11,12,2,3) なは女性センター、那覇市母子会 他			
子どもへ の暴力防 止につい ての学習 啓発事業	公開講座	1回 10/14 リフカー研修	3	40	5,549
	沖縄県子ど も虐待防止 推進事業	8回 10/27 川崎二三彦講演会 浦添市 10/28 川崎二三彦研修 那覇市 (専門職のみ) 11/5 金香百合講演会 石垣市 11/7 金香百合講演会 宮古島市 12/10 徳丸ゆき子講演会 那覇市 12/15 小栗正幸研修 那覇市 (専門職のみ) 12/16 小栗正幸講演会 名護市 3/6 西澤哲講演会 浦添市	40	1000	
地域ネッ トワーク 事業	地域ネット ワーク会議	12回 ・赤い羽根共同募金感謝の集い ・子どもシェルター意見交換会 ・子どもシェルター設立総会 ・なは女性センター利用者連絡会議 ・要保護児童対策協議会代表者会議 及び実務者会議(3回) ・那覇市子ども政策審議会(2回) ・那覇市子ども政策審議会指定管理者 選定部会 ・沖縄県子ども子育て会議 ・ている意見交換会	5	30	2,527
	インターン 受け入れ	13回 ・那覇看護専門学校(12回) ・ぐしかわ看護専門学校フィールドワーク		50	

	児童養護施設職員等資質向上支援事業	・県内8施設に講師を派遣し、スーパーヴァイズ研修のコーディネート ・基幹的職員研修派遣のコーディネート ・リフカー研修の実施(10月)	10	365	
	その他	5/10 Weぶらんにんぐ安全講話協力 5~11月 WeぶらんにんぐデートDV防止講座協力(浦添市内中学校) 5/15 仁藤夢乃講演会 12/18 赤い羽根共同募金街頭活動 1~2月 タイムス入学おめでとう大会(名護市、那覇市、うるま市)	10		
会報等の発行事業	会報の発行	年2回	5	600	100
	ホームページ	随時 事務所	3		
	その他メディア	7/30 沖縄タイムス取材 8/6 琉球新報副読紙レキオ取材 『けーし風』連載	3		
その他、目的を達成するために必要な事業	なし				0

※上記事業のほか、総会 1回(5/24) 理事会 3回(5/9, 12/9, 3/30) 事務局会議 50回。労務・税務など。